# 元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹

市長の部屋

◀こちらからもご覧いただけます

8月10日の深夜から11日早朝にかけて県内各地を襲った記録的豪雨。

本市におきましても、家屋や車、農地等への浸水被害が確認されております。河川の氾濫や土砂災害など甚大な被害に見舞われた近隣自治体では、尊い命も奪われました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族や被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨では、気象庁から近隣自治体に大雨特別警報が発表されました。

「特別警報」は、「これまでに経験したことのないような災害が迫っている」ことを知らせ、最大級の警戒を呼びかけるものです。大雨特別警報が発表された地域での被害の大きさを目の当たりにし、この言葉が持つ重みや深刻さを強く実感された方も多いのではないでしょうか。

そこで、市民の皆様に改めて認識していただきたいことがあります。それは、「災害時に、ある心の働きが避難を遅らせ、命をも危険にさらしてしまうことがある」ということです。

例えば、大雨や大型台風の接近が報じられた際、「前回も大丈夫だったから、今回もきっと大丈夫」「自分の身に限って、大変なことは起こらない」と感じてしまうことはありませんか。これは「正常性バイアス」という心理現象で、危険が迫っていても「大したことはない」との意識が働き判断を鈍らせ、避難行動の妨げになります。

また、「誰も逃げていないから」「みんなと一緒だから大丈夫」と、周囲の様子をうかがい行動をためらう「同調性バイアス」も避難の遅れにつながります。こうした心の働きが命に関わる危険を招くということを意識していただき、早めの避難や身を守る行動につなげていただきたいと思います。

9月は防災月間です。私たちが暮らす日本は、地震や台風など、さまざまな災害のリスクと常に隣り合わせにあります。市としましては、これまでの経験や教訓をもとに、早めの避難誘導をはじめ、さらなる災害対応力の強化に努めてまいります。この防災月間が、皆さまにとりましてご自身やご家族の防災対策を今一度振り返り、日頃からできる備えについて考えていただくきっかけとなれば幸いです。

## 香典返し

**市社協に次の方々から寄附がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。（敬称略）**

▽長浜町　鍬田一成　亡母　トシエ　（九八）
▽松山町　澤田雅治　亡母　洋子　（九二）
▽宇城市不知火町　岩谷孝子　亡母　浦上フジ子　（九二）
▽網津町　野村直文　亡母　フミ子　（九四）
▽野鶴町　松本　妙　亡夫　洋　（九九）
▽福岡市中央区西公園　氏原勝也　亡母　ヨシメ　（九八）
▽新町一丁目　山口かすみ　亡夫　孝司　（八一）
▽城之浦町　小山幸子　亡兄　博行　（九二）
▽走潟町　田代雄一　亡父　良二　（七四）
▽栗崎町　田口整切　亡母　照子　（一〇一）
▽花園町　江村由美子　亡夫　誠也　（六七）
▽松山町　岡崎良二　亡母　ツルエ　（九七）
▽住吉町　山本賢一　亡母　秋技　（九九）
▽熊本市西区上熊本　那須　保　亡母　千恵子　（九七）

**社協へのご寄附は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄附金控除」ができます。（※8月10日受付分までを掲載）**

## 編集後記

▽8月14・15日、豪雨被害の大きかった八代市と宇城市で災害ごみ受け入れ支援を行いました。早朝から多くの家財が運び込まれ、自然災害の厳しさを実感。できることには限りがありますが、防災の大切さを改めて感じました。（東）

▽このたびの豪雨を通じて、災害はいつどこで起こるか分からないということを改めて実感しました。広報やSNSの発信を通じて、少しでも皆様の力になれるよう努めていきます。（古）

▽今月の表紙は、大きく実ったシャインマスカットと農家の野添さん。ハウスや直売所などなんでも自分で建てる、物作りのスペシャリストでした！シャインマスカットの販売が始まる9月中旬が待ち遠しいです（松）

▽このたびの豪雨を経験し、災害時は正しい情報を早く知ることの大切さを改めて感じました。宇土市では、公式LINEやSNSを使って、避難情報や交通規制などの緊急情報を、いち早くお届けしています。日頃からの備えとして、ぜひこの機会にチェックしてみてください。（鳥）